



今月の主な内容

豊かな地域社会を実現する税… 2～3
 姉妹町音更町小学生と交流…………… 7
 平成20年度町成人式…………… 8～9
 スポーツ特集…………… 10～11

円子小学校で8月13日、第29回の学童相撲大会が行われました。土俵に響く「のこったのこった」の掛け声と観客の大きな声援。4年生の部では大崎拓真くん（写真左）が4年連続の優勝を飾りました。10ページに関連記事

豊かな地域社会を実現するため

あなたの税が生きています

公共サービスを行うために必要な費用のほとんどは、皆さんが納めている税金によってまかなわれ、道路の整備やごみ処理、医療、福祉、教育など、幅広い分野に使われています。税金は、私たちが豊かで安心な暮らしができるように、みんなが社会を支えるためのいわば「会費」といえます。住みよい町づくりを積極的に推進するためにも、期限内の納付が重要になっていきます。

町を支える税金

平成十九年度の軽米町一般会計の総額は五十七億九千六百九十九万円。そのうち、自主財源である町税は七億二千四百七十七万円で歳入全体の一二・五％を占めています。（グラフ①）

町税の内訳を見ると、固定資産税が三億六千七百十五万円で五〇・七％を占め、続いて町民税の二億七千八百五十四万円（三八・五％）、軽自動車税の二千四百九十三万円（三・四％）などとなっています。（グラフ②）

平成十九年に国から地方への税源移譲が行われ、国の税

金である所得税の負担が減る一方、町県民税の税率が引き上げられたため、歳入総額に対する町税の割合は高くなってきたっており、町税の収納率の向上がますます重要になっていきます。

医療制度を支える国民健康保険を見てみると、同じく平成十九年度の歳入総額は十五億六千八百八十九万円で、皆さんから負担いただいた国民健康保険税は四億三千六十五万円と、歳入総額の約三割を占めています。（グラフ③）

国民健康保険税は加入者の医療費の支払いに充てる財源となっており、税の収納率が低下した場合、その支払いに支障が出るばかりでなく、国

からの交付金が減額されるなど、町財政にも影響が及ぶこととなります。

町での収納対策

町からの課税に対し、ほとんどの方は厳しい経済状況の中でも、きちんと納付されています。しかし、病気や失業、倒産などやむをえない理由で納付することができず、翌年度以降に滞納として繰り越される場合があるほか、中には納めることができるにもかかわらず滞納になるケースなどもあり、税の収納率は九〇％台後半で推移しているのが現状です。

税の滞納額は、全国的にみ

滞納に県と連携

岩手県と県内三十三市町村では、国の三位一体改革で平成十九年度から行われた所得税から住民税への三兆円規模の税源移譲に対応し、地方税の確実な収納を確保するため、平成十八年十月に岩手県地方税特別滞納整理機構を設置しました。同機構には町も加入し、これまで以上に自主財源の確保に努めています。平成十九年度の町から機構への引継件数二十件

※県地方税特別滞納整理機構町税など（町県民税や固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）の滞納が累積し、納税にに応じていただけない方

を市町村から引き継ぎ、法律に基づいて預金や給与、不動産などの差押え、公売処分といった滞納整理を専門的に行う組織。

納期内の納付を

皆さんから直接納めていただく主な町税は、前年の所得に応じて課税される町民税と土地や建物の所有者に課税される固定資産税、オートバイやトラクター、軽四輪自動車などの所有者に課税される軽自動車税、国民健康保険に加入している方に保険料分として課税される国民健康保険税で、それぞれ別表のとおり何回かの納期に分けて納めています。

別表から分かるように、税目ごとの納期には数カ月間の間があるものもありますが、全体的にみると四月から翌年の二月まで、ほぼ毎月のように何らかの納期になっています。ご自分やご家族に課税されている町税の内容を確認し、計画的に納期内での納付をお願いします。

町内では、各種税金の納期限内納付を目的とした納税貯蓄組合が八十九団体で組織され、約二千六百世帯の皆さんが加入しています。お互いに声を掛け合って納付することで、納め忘れを防ぐなど、町税の円滑な収納を支えています。

町では、より便利に、安心して納付できる口座振替制

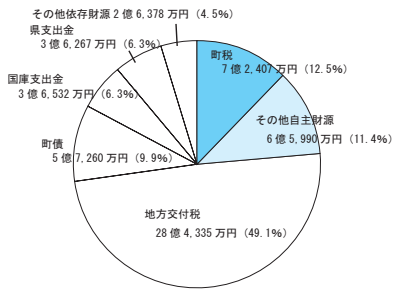
ると増加傾向にあります。そのような状況を放置することとは、税に対する不公平感を増大させることになりかねないほか、公共サービスの低下をまねくおそれもあります。

町では、税などの滞納に対して適切な対策を講じるため、平成十五年十月に関係課で構成する町税等滞納整理対策委員会を設置するとともに、夜間と休日の納税相談を定期的に行い計画的な滞納解消を進める一方、資力があるにもかかわらず、納税に応じていただけない場合には差押処分を行うなど、滞納の解消に努めています。

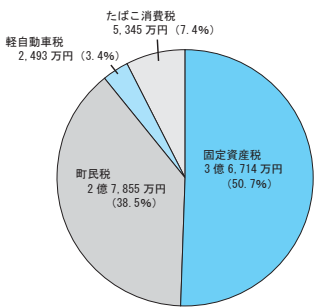
平成十九年度差押件数四十一件（預金、債権など）



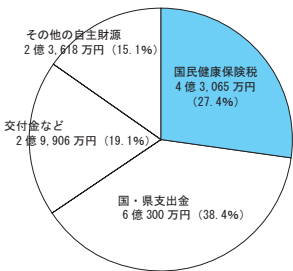
グラフ①
一般会計歳入額の内訳



グラフ②
町税（一般税の内訳）



グラフ③
国民健康保険税特別会計の歳入内訳



度を設けています。町税のほか、保育料や学校給食費などでも利用できますので、お気軽にご利用ください。活力に満ちた豊かな地域社会実現のため、これからも納期内の納付をお願いします。

躍動 かるまい夏まつり

夏の祭典・かるまい夏まつりが八月一日から三日までの三日間開催され、主会場の町物産交流館（仲町）など町中心街は賑わいました。

イベント盛り上がる

この夏異常発生したマイマイガ対策として、中心街の街灯を消して行われた今年の夏まつり。町中心街は七夕飾りや華やかなちようちんで商店街が彩られたほか、二日には町商工会青年部（小野憲部長）がイベントを企画。町物産交流館とみちのく銀行軽米支店の駐車場を会場に、軽トラ市が開催され、青果物や衣料品、飲食品などをのせた軽トラックが並び、午前九時の開店とともに大勢の買い物客が訪れた。

ナニヤドヤラに躍動

最終日の三日には、町防災センター近くの防里沢川で、ニジマス釣り大会（雪谷川を守る会主催）が開催され賑わった。子どもたちは、かぶと虫ふれあい体験コーナーに詰め掛け、かぶと虫とのふれあいを楽しみました。各商店街の路上では各種イベントが開催。仲町で行われたヨサコイソーランフェスティバルには、今年創立五周年を迎えた軽米ソーランの他、合わせて五団体が参加しました。また創作太鼓の会「座・宇漢米」の演奏や、紙飛行機飛ばし大会が行われるなど、暗闇を吹き飛ばす楽しいイベントに会場は盛り上がりましました。

いを見せました。

午後七時からは、祭りのフイナレを飾るカシオペア杯争奪ナニヤドヤラ大会を開催。町内外から集まった盆友団、総勢二百五十人あまりが、勇壮な太鼓のリズムと華麗な手踊りを競い合いながら町中心街を練り歩きました。審査の結果、最優秀賞には二年連続で円子盆踊り保存会が輝いたほか、町内からは軽米ナニヤドヤラ保存会と笹渡こども太鼓、山内盆踊り保存会が特別賞に輝きました。



①



②



③

- ① 向川原地区の防里沢川で行われたニジマス釣り大会
- ② 5周年を迎えた軽米ソーラン愛好会の皆さん
- ③ カシオペア杯争奪ナニヤドヤラ大会では円子盆踊り保存会の皆さんが見事優勝を飾りました
- ④ 自分で作った紙飛行機の飛行距離を競う紙飛行機飛ばし競争
- ⑤ 笹渡子ども太鼓の元気なナニヤドヤラ



軽米高校の生徒が インターンシップ（職場体験）を実施

実際の仕事はどんな感じですか？

県立軽米高校（高橋光彦校長、生徒三百四人）では、七月二十八日から八月一日にかけてインターンシップを実施しました。二年一組と二組の希望者ら全四十六人が、役場や事業所など町内十二カ所に分かれて仕事を体験しました。

インターンシップは、就職する前に実際に仕事を体験することによって社会人としての心構えや、将来仕事に就く際の参考にする目的で行われています。

町役場総務課では、木村成美さんが、広報かるまいの作成や町の発展、PRに向けた意見交換などを体験。木村さんが取材した、インターンシップを行った生徒の体験や感想を紹介します。



小林 慎也さん
（町役場産業振興課）

商工観光グループでは、工業団地を見に行きました。工業団地に企業がきいてくれるように一生懸命頑張っていると聞いて、いつか大きい企業がきてくれればいいなあと思いました。



日山 翔太郎さん
（小軽米保育園）

子どもと遊んだり、子供に絵本を読み聞かせたり、一緒にご飯も食べたりしました。小さい子はすごくかわいかったです。疲れるけど、とても楽しかったです。



木村 成美さん
（町役場総務課）

最初は緊張しましたが、職場の方々の支えもあり、2日目からはだいぶスムーズにできるようになりました。取材では、カメラを握るのがとても緊張しましたが、慣れてくるととても楽しかったです。今回の体験で「仕事をする」と大変さを身をもって経験することができました。この経験を忘れずに、将来に役立てていきたいと思います。



日山 雪菜さん
（三光ストア）

最初に掃除をしました。掃除をしていると、虫がたくさん出てきました。虫がいると、お客さんだけではなく、働いている人も嫌になるので、掃除は大切だと思いました。



館下 えりさん
（みる・ミルハウス）

オーダーをとったり、皿を洗ったりしました。オーダーをとるのは、最初は緊張したけど、慣れてくると楽しくなりました。ソフトクリーム作りも体験し、意外にうまく作れました。

幸せな出会いに感謝 東京外国語大留学生と交流

東京外国語大学に留学中の
外国人学生十五人が町内での
八日間のホームステイを終
え、八月二十四日に家族との
お別れ会が農村環境改善セン



楽しかった1週間の思い出に留学生とホストファミリーとで記念撮影

ターで行われました。
八月十七日から二十四日ま
でのホームステイ中は、町内
の小中高生が留学生の受け
入れ先となり、自宅で一緒に
過ごしたり、自分の通う学校
と一緒に登校するなどしまし
た。手打ちソバや剣道を体験
する機会も設けられ、軽米の
文化にも触れていました。手
打ちソバに挑戦したダビドさ
ん（エルサルバドル出身）は
「作るの難しかったけどお
いしかった」と喜んでいまし
た。

最終日の二十四日には、軽
米高校文化祭で劇「ももたろ
う」を流ちょうな日本語で発
表。ユーモアを交えた劇に観
客からは笑い声が絶えませ
んでした。

留学生を受け入れたホスト
ファミリーや留学生の感想を
紹介します。

ホストファミリー 福島京子さん（車門）



福島京子さん（左）家族と留学生のケンさん（右から2番目）

マレーシアから来たケンさんは
4カ月しかいないのに日本語がと
ても上手。何でも手伝ってくれて、
控えめでしゃばらず勉強家で、
おばあちゃんは感心していました。
毎晩お互いの国のこと、分から
ないことなどを話し合い、マレー
シアも州都のマラッカも両親も
大好きなケンさん。わたしたちは

果たして日本が好きですと言える
だろうか。考えさせられました。
何でもおいしいおいしいと言って
食べてくれてまるで息子が帰っ
てきたみたいに幸せな一週間です。
わたしたちはケンさんのファン
です。あなたの希望がかなうよう
祈っています。幸せな時間を本当
にありがとう。

ホストチューデント 小平伸恵さん（平、軽米高校3年）

マディナと会って初めはあまり
会話もできませんでしたが、マディ
ナがすごく気軽に話しかけてくれ
てその日のうちに仲良くなれまし
た。カザフスタンの高校のことや
文化などを教えてくれて、どれも
新鮮なことで印象に残っています。
短い期間でしたが、一緒に生活
して学校に行ったり花火をしたり
思い出がたくさんできました。わ

たしにとって最初は留学生と考
えていたマディナが今では家族のよ
うに感じます。
この事業では「何かを伝えよう
とすることの大切さ」を学ぶこと
ができました。言葉を言い換える
だけで難しいことも伝わったこと
がたくさんありました。マディナ
と出会えて本当によかったです。
ありがとうございました。



小平伸恵さん（右から2番目）家族と留学生のマディナさん（中央）

留学生 チャン・アン・ミンさん（ベトナム）



留学生のミンさん（右）と工藤祥子さん、悠雅くん

日本には今年の4月にベトナムから来ま
した。日本人の生活について調べたか
つたので今回のホームステイプログラムで希望
がかないました。
1週間軽米のホストファミリーと住むこ
とはとてもいい記念で、貴重な経験となり
ました。お風呂の入り方や布団の使い方な
どが分かり、日本人の家庭の暮らしがよく
分かりました。お母さんに作っていただい
た料理は、どの料理も色がきれいでおいし

かったです。形や栄養にもこだわっている
と思いました。
軽米小学校では子どもたちと一緒に遊ん
だり勉強したりして交流しました。子ども
たちは頭がよくかわいかったです。お別れ
会では子どもたちから歌や記念のプレゼン
トをもらって、本当に感動しました。
文化祭でやった「ももたろう」の劇は、
お世話になった軽米町の皆さんへのプレゼ
ントと思って頑張りました。

音更町小学生と きずなを深める

町内の小学生十四人と、姉
妹町である音更町の小学生
十九人との相互訪問による
交流が、七月二十九日から
三十一日まで本町で、八月四
日から七日まで音更町で行わ
れました。子どもたちはホー
ムステイなどを通じて、互い
の町の文化や歴史、生活習慣、
地形や気候などを体験しまし
た。一週間にわたる研修のな
かで見て・触れて・食べて・
感じた子どもたちの感想をご
紹介します。

ダチヨウに乗ったよ



たくみ 拓くん
（軽米小5年）

四日間の研修で、北海道と
軽米町との違いを感じること
ができました。北海道はとて
も広くて、真っ直ぐな道路が
どこまでも続いていてびっく
りしました。音更町では上田
和紀くんの家にお世話になり

これが姉妹町なんだ



せな 瀬奈さん
（小軽米小5年）

わたしがこの研修を通して
感じたことは、友達、家族の
大切さです。どんなことをす
る時でも、わたしは家族がい
ないとできません。この研修
では、家族がいなかったの
「家族のいないわたしに『今』
できることは何だろう」と考

えながらも、友達と協力して
行動できました。
北海道は予想以上に暑かっ
たです。バスで移動している
ときに、たくさん牛や馬が
のんびり外を歩き回っている
ことに驚きました。お世話に
なった家でも酪農をやってい
て、百五十頭もの牛を飼って
いて酪農についてたくさん教
えてもらいました。
音更町は「ここは本当に北
海道だよ」と思うくらい、
すくなくじみのある町でし
た。こういうのを姉妹町とい
うのかなあと思いました。

きずなを深めた研修



れん 蓮くん
（観音林小5年）

どんな人と会うか、友達に
なれるか初めは心配でした
が、向中野光くんがぼくの家
にきて焼肉をしたり花火をし
て遊んでくれるうちにすぐに友
達になれました。初めて行っ



なな 菜菜子さん
（山内小5年）

いつかまた音更町に

初めての北海道、初めての
フェリー、初めての飛行機と
なにもかも初めてのことがば
かりでとてもドキドキでし
た。音更町では高橋愛未ちゃ
んの家に泊まりました。愛未
ちゃんの家では牛を飼ってい
ると聞き牛舎を見せてもらい

ました。牛は百二十頭いると
聞いてとてもびっくりしまし
た。牛の話の他にいろんな話
をしたり花火をしてとても楽
しかったです。研修三日目に
はエコジョーパークに連れて
いってもらいフワフワランド
で遊んで楽しかったです。他
に柳月やワイン工場などに連
れていってもらいました。
研修四日目はお別れの日。
みんなと仲良くなれたのに、
お別れするのがとてもさびし
かったです。いつかまた、音
更町にいったらいいなと思
います。

軽米町をリードし

～成人を迎えて～



小林佳織さん（屋敷、学生）写真左

久しぶりに友達に会えてうれしかったです。大学で勉強やテニスを頑張っています。みんなに信頼される大人になりたいと思います。



式典のスタッフとして活躍した軽米高校の皆さん

新成人には、町と町選挙管理委員会からお祝いの記念品が贈られ、また学生時代の恩師などからの祝電も披露されました。式典終了後のアトラクションで創作太鼓の会座・宇漢米が「祝い太鼓」などを披露。力強い演奏で晴れの門出に花を添えました。

式典の開催にあたる準備、式の受付、司会進行などは、軽米高校（高橋光彦校長、生徒百四人）生徒会の十四人が務めました。生徒会長の竹澤圭祐さん（二年）は「うまく進めることができた。先輩の姿を見て自分たちも立派な大人になりたい」と式を振り返りました。

明るい将来を築く



式典では、出席者全員で町民憲章の唱和を行った後、新成人者を紹介。司会を務めた高校生スタッフによって、新成人一人ひとりの名前が読み上げられました。

山本賢一町長が式辞で「二十歳になり成人としての権利ができる。一人ひとりが主体的に地域活動、社会づくりに参画するんだという意識をしっかりと持っていたいただきたい。皆さんには大きな可能性が秘められている。大きな夢と目標を実現する心をしっかり持ち、社会に貢献してください」と激励しました。

新成人を代表して小野寺悟さん（下晴山）が「皆さんからのお祝いと励ましの言葉を胸に、これからの人生をしっかりと生きていきたい。これからの軽米、そして日本をリードしていくんだとの気持ちで、明るい将来を築いていきたい」と新成人としての誓いを述べました。

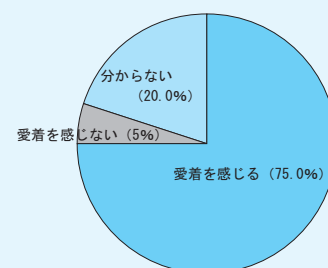
平成二十年度の町成人式が八月十五日、町農村環境改善センターで開催されました。二十歳という人生の節目にあたり、晴れやかな衣装で式典に臨んだ新成人百四人は、真の社会人としての自覚と決意を胸にしていました。

平成20年度町成人式

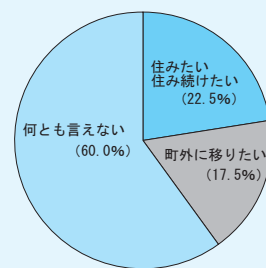
新成人意識アンケート

成人式に出席した104人のうち40人の方から新成人意識アンケートに回答いただきました。政治で最も関心のあるのは「税金」、普段の楽しみは「読書・テレビなど」となっています。また8割の方が「町に愛着がある」とする一方で、「町に住みたいですか」に「なんとも言えない」に6割の方が回答しています。

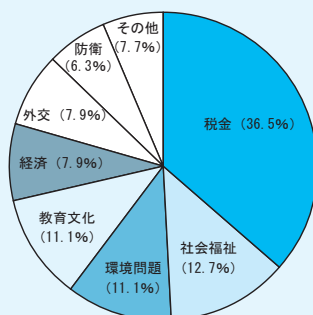
【問】町に愛着を感じていますか？



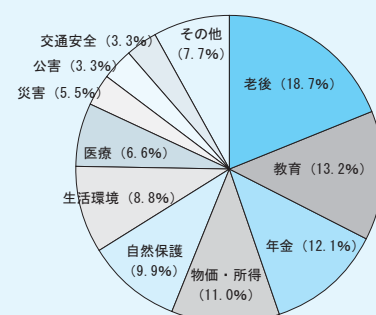
【問】町に住み続けたいですか？



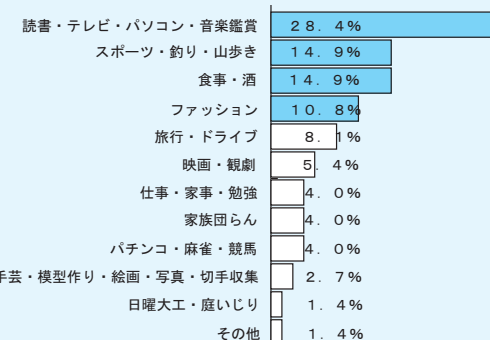
【問】政治で特に関心のあることは？



【問】日ごろ身近に感じている問題は？



【問】生活の楽しみは何ですか？



2008成人式 フотスナップ





全国大会出場を決めた赤羽礼子さん（左）と橋場さとしさん

社会人卓球選手権大会

橋場さとしさん 赤羽礼子さん 全国へ

第四十二回県社会人卓球選手権大会兼全日本予選会が八月十日に矢巾町民総合体育館で開催され、女子シングルの部で橋場さとしさん（大清水）が準優勝、女子フォートイীর部で赤羽礼子さん（同）が準優勝を果たしました。二人はそれぞれ十月と十一月に開催される全国大会に出場します。橋場さんは「全国レベルの大会で勝てるようにもっと練習を頑張っていきたい」と練習に力を入れています。



全国大会出場を決めた軽米チームの皆さん
【後列左から】山下正勝、坂本盛、坂本光子、中村幸助
【前列左から】奥谷克吉、奥谷誠四郎、大島福雄（敬称略）

県ゲートボール選手権大会で優勝

軽米チーム全国へ

第十七回岩手県ゲートボール選手権大会が八月二日、三日、花巻市スポーツキャンパスで開催され、県内から全四十八チームが出場しました。選抜チームで出場した軽米チームは予選リーグ、決勝トーナメントで他市町村の強豪と対戦し見事優勝。十月四日から佐賀県で開催される第二十四回全日本選手権大会への出場権を手に入れました。奥谷克吉さん（屋敷、五十四歳）は「予選リーグを勝ち上がり決勝トーナメントに進出したい」と決意を新たにしていました。

まわし姿に 大きな声援

平成二十年度円子地区学童相撲大会第二十九回大会は八月十三日、円子小学校相撲場で行われ円子小の男子児童二十五人が参加しました。まわし姿で登場した児童らは、塩で土俵を清めた後、堂々と土俵入り。家族や地域住民ら約百人の応援を受け児童らは熱戦を展開。三分を超え水入りとなる取組もあり、観客からは大きな声援が送られていました。



まわし姿に笑顔が素敵な円子小児童

歓声を背に記録に挑戦！

第三十二回町小学校水泳記録会（町学校体育連盟主催）が八月一日、小軽米小プールで開催されました。全三十二種目に延べ三百九人が選手登録。各校を代表した選手たちは、応援に後押しされながら日ごろの成果を発揮し、懸命にゴールをめざしていました。各種目の優勝者とも記録は、下記のとおりです。



32種目に延べ309人が出場した水泳記録会

第22回並岡旗争奪剣道大会・中学校男子

軽米中Aが2連覇



【後列左から】世古普幸、坂本隆磨、長内拓（以上2年）
【前列左から】小笠原慎二（2年）、坂本将士（1年）（敬称略）

第22回岩手県北ゲートボール大会

小玉川チームが優勝

第二十二回県北ゲートボール大会（町ゲートボール協会主催）が八月三十一日にハートフル・スポーツランド多目的ひろばで開催され、小玉川チームが優勝しました。雨のなか行われた大会には、岩手県内と青森県南から五十チーム、総勢三百人あまりが参加。十コートに分かれてリーグ戦で行われました。試合の結果は勝敗、得失点差、得点率の順で総合順位を決定。上位結果は次のとおりです。（○は順位）



雨のなか300人が集まったハートフルスポーツランド多目的ひろば

第30回町総体中間成績					
順位	チーム名	得点	順位	チーム名	得点
1	山内	7 2	9	晴高	5 2
2	上館連合	6 6	9	小玉川	5 2
2	円子	6 6	11	下新町	4 5
2	米田	6 6	12	増子内	4 4
5	小軽米	6 4	13	軽米中央	4 1
6	観音林	5 8	14	軽米東	2 5
7	笹渡	5 4	15	向川原	1 6
7	上新町	5 4	16	長倉・駒木	0

※軽米中央（荒町、仲町、本町、大町、元屋町）
軽米東（萩田、門前、蓮台野、桜山）

町民体育祭の結果で最終順位が決定します！皆さんでご参加ください。

町民体育祭第30回大会
日時：10月12日（日）午前9時開会
場所：ハートフルスポーツランド多目的広場
（健康まつりも同時に開催されます）

活躍が目立ちました。軽米中Aは、危なげない試合運びで勝利を重ね、二年連続八回目の栄冠を掴みました。主将の坂本隆磨くん（二年）は「順当に勝ち上がるこゝとができた。県中総体で優勝し全国大会を目指したい」と、次の目標を掲げていました。大会結果は次のとおりです。

塾（八戸市）
【中学校・男子の部】
①軽米中A②堀口中（三沢市）
③軽米中B、山田中（山田町）
【中学校・女子の部】
①飯岡研心剣道スポーツ少年団（盛岡市）②南部中（南部町）
③軽米中、湯本中（花巻市）
【高等学校・男子】
①花巻南高A②宮古高A③三戸高、青森北高
【高等学校・女子】
①青森北高②盛岡南高③福岡高、盛岡北高

◇150mメドレーリレー

【女子】軽米小（安藤美香、松本和乃、下斗米七瀬）2分26秒0
【男子】軽米小（橋場大弥、日脇拓実、小笠原涼太）2分27秒3

◇200mリレー

【女子】軽米小（下斗米七瀬、安藤美香、松本和乃、浅水百加）2分51秒6
【男子】円子小（泉山脩斗、土佐年広、小林真也、野中瞭）3分00秒4

◇自由形

【5年女子25m】	並岡 春菜（山内小）	24秒6
【5年男子25m】	野中 謙（円子小3年）	22秒5
【5年女子50m】	館下 友香（晴高小）	50秒9
【5年男子50m】	泉山 脩斗（円子小）	42秒1
【6年女子25m】	稲森 里美（円子小）	22秒7
【6年男子25m】	上山 友裕（山内小）	20秒7
【6年女子50m】	安藤 美香（軽米小）	42秒4
【6年男子50m】	金山 龍二（山内小）	46秒6
【6年女子100m】	松本 和乃（軽米小）	1分38秒5
【6年男子100m】	小笠原涼太（軽米小）	1分33秒1

◇背泳ぎ

【5年女子25m】	小笠原理恵（軽米小4年）	27秒7
【5年男子25m】	土佐 年広（円子小）	26秒9
【5年女子50m】	坂上菜菜子（山内小）	1分00秒9
【5年男子50m】	泉山 脩斗（円子小）	51秒6
【6年女子50m】	安藤 美香（軽米小）	53秒3
【6年男子50m】	田代 昂太（山内小）	58秒4
【6年女子100m】	成田 瑞姫（軽米小）	2分11秒8
【6年男子100m】	平 基修（山内小）	2分13秒1

◇平泳ぎ

【5年女子25m】	田中 春那（小軽米小4年）	33秒3
【5年男子25m】	皆川 慎吾（軽米小3年）	29秒1
【5年女子50m】	来迎 成美（軽米小4年）	1分09秒2
【5年男子50m】	日脇 拓実（軽米小）	53秒7
【6年女子50m】	狄塚 友美（山内小）	57秒2
【6年男子50m】	石澤 和樹（山内小）	58秒3
【6年女子100m】	松本 和乃（軽米小）	1分58秒3
【6年男子100m】	増尾 悠大（小軽米小）	2分01秒6

◇バタフライ

【女子25m】	下斗米七瀬（軽米小6年）	22秒3
【男子25m】	野中 瞭（円子小6年）	24秒2

※青色太字は大会新記録

グループホーム 花の里かるまいが開所

認知症高齢者グループホームとして町で初となる「グループホーム花の里かるまい」が開所し、八月五日に開所式が行われました。開所式には施設の職員や関係者ら約三十人が出席。社会福祉法人麗沢会の中館眞一理事長は「地域の皆さんの支援により施設を開くことができた。地域住民の認知症への理解を高め、入所者の能力に応じた生活の支援など、グループホームとしての任務を果たしていきたい」と式辞を述べました。

グループホームとは

認知症高齢者グループホームは、認知症の症状がある高齢者が、職員の援助を受けながら少人数で共同生活を行うことができる介護施設です。施設には、個室が九室ありまた台所やお風呂、洗濯機などもあり、自宅にいる時と同じような生活ができるように作られています。入居者の定員は九人で、家族的な介護ができることが特徴です。

開所までの道のり

二戸地区広域行政事務組合の第三期介護保険計画に基づき、施設の整備が進められてきました。施設の整備にあたり、施設の運営計画や収支計画などを作成し本年二月から建設を開始。建設に係る費用のうち千五百万円は町が補助し、五月十五日に施設が完成しました。その後二戸地区広域行政



緑豊かな土地に建設された施設



中館理事長らによりテープカットが行われました

事務組合から介護保険施設の指定を受け、八月五日の開所となりました。

楽しく安心な生活

施設には職員が二十四時間常駐し、床暖房や安全に配慮したキッチン設備、手すりなども多く設置されており、安心して生活を送れるように作られています。また入所者が楽しい毎日を送れるように、花を育てたり、外の空気や日差しを体で感じることでできる木製デッキを設置。隣にある介護老人保健施設花の里かるまいとの夏祭りや敬老会での交流も予定されています。

晴中生福祉の心を学ぶ

晴山中学校（小橋正嗣校長、生徒九十六人）で八月二十八日、全校一斉で取り組む福祉活動が行われました。一年生三十二人は、県北

青少年の家までの国道沿い三キロのごみ拾いをし、雑誌やペットボトルなどごみ袋で三十袋以上ものごみを拾いました。平内建蔵くんは「ごみがたくさん落ちていた。一人ひとりがごみ捨てに対する意識を変えていか



国道にはたくさんのごみが落ちていました



山内保育園と一緒に駒踊りを踊る3年生

自動車総連が製版機を寄贈

自動車総連岩手地方協議会（樂山勲議長）からこぶし福祉作業所に、デジタルスクリーン製版機（五十万円相当）が寄贈され、八月二十七日には樂山議長ら関係者が同作業所を訪れ寄贈式が行われまし



樂山議長（左から2番目）と施設利用者の皆さん

た。樂山議長が「自動車関係で働く仲間からのカンパにより活動を行っている。社会への自立の一步となるように利用していただければ」と社会福祉協議会の菅原皓文会長に目録を手渡しました。菅原会長は「全国七十四万人の会員の真心がこもったものだ。これまでに以上に活動を盛り上げていきたい」とあいさつ、利用者を代表して工藤貴子さん（岩崎）が「いただいた製版機で多くの人に喜ばれるように仕事を頑張りたい」とお礼を述べました。

Welcome to Karumai !



新しい町の英語指導助手
ジャーニン・ビドミードさん

新しい町英語指導助手にジャーニン・ビドミードさん（イングランド出身、二十一歳）が着任し、八月八日に町役場で辞令交付が行われました。ジャーニンさんは「日本語がまだよく分からないので一生懸命覚えたいです。皆さんと楽しく英語の勉強をしたいので、遠慮しないで話しかけてください」と、日本での生活を楽しみにしていました。ジャーニンさんは、主に中学校の英語の授業を担当します。（十七ページにジャーニンさんの自己紹介を掲載しています）

固定資産評価審査委員に 川口幸雄さんを再任



川口 幸雄さん
（蛇口、65歳）

八月五日に開催された町議会臨時会で、固定資産評価審査委員に川口幸雄さんを再任することに同意しました。任期は本年九月六日から三年間、固定資産課税台帳の記載事項に関する不服の審査などを行います。

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所

秋の交通安全運動

- 期間 9月21日(日)～9月30日(火)
- 活動重点

- 高齢者の交通事故防止
 - ・高齢者が道路を横断中にはねられる事故が多くなっています。
 - ・75歳以上のドライバーは「高齢運転者標識」が義務づけられています。
- 夕暮れ時の交通事故防止
 - ・薄暮時間の交通事故が多発します。歩行者は明るい服装と反射材の活用を！
 - ・午後4時を過ぎたらライトの早め点灯を！
- 後部座席もシートベルトとチャイルドシート
 - ・後部座席も含め、全席シートベルトが義務づけられています。
 - ・お子さんにはチャイルドシートを正しく着用させましょう。



- 飲酒運転の根絶
 - 乗るなら飲むな！飲むなら乗るな！軽い気持ちの飲酒運転が、重い罪を償うことになります。

7月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※（累計）は1月からの合計

▶ 町内の交通事故			
	当月（累計）	昨年比	
人身事故	3件（6件）	－3	
死亡者	0人（0人）	±0	
負傷者	4人（7人）	－8	
物損事故	10件（60件）	－15	
▶ 救急車の出動回数			
	41回（193回）	－21	
▶ 飲酒運転検挙者			
（行政区）	（年代）	（性別）	
沢田	70代	男	

軽高生がふれあい看護体験



入院患者に笑顔で接する軽高生

カシオペアふれあい看護体験が七月二十九日、県立軽米病院で行われ、軽米高二年生七人が看護体験を行いました。生徒は、手浴や足浴などのお世話、患者さんとのコミュニケーションを体験。
中里佳麻里さんは「実際にやってみて、意外と難しかった」と話していました。主任看護師の日高富美子さんは「せっかく体験にきたので、ぜひ看護師の仕事を選んでほしい」と話していました。

(木村成美写真撮影、記事作成)

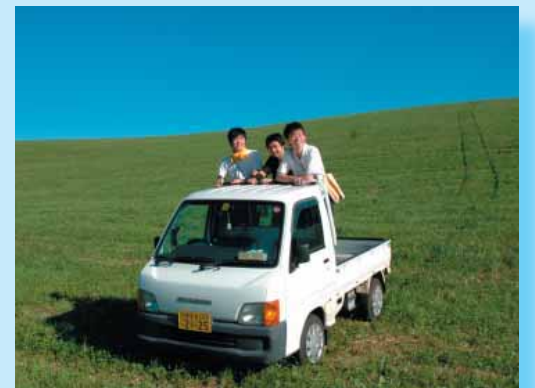
淵澤圓右衛門の思想を学ぶ

町歴史民俗資料館で七月二十四日から八月三十一日まで、江戸時代後期の豪商、淵澤圓右衛門を顕彰する企画展「遺言」淵澤圓右衛門から現代へ」が開催され、約四百人が見学しました。八月十日には、町文化財調査委員長の平船圭子さん（仲町）が講師となり、本年三月に町有形文化財に指定された「軽邑耕作鈔」や「遺言」に見る思想について講演。参加した約三十人の住民らは、先人の優れた思想と業績に理解を深め感じていました。



「遺言」について説明する平船さん（右）

グリーンツーリズムを体験



広大な草原に満面の笑みを浮かべる学生

滋賀県にある龍谷大学社会学部の脇田健一教授と研究室の学生三人は八月九日、笹渡地区を訪れ搾乳やジャガイモの収穫などの農業体験を行いました。各地区のグリーンツーリズムのさまざまなメニューを体験し、地域づくり活動について学ぶことを目的に、当町のほか二戸市などで行われた体験活動。学生らは「農業、酪農ともスケールが違う。初めてのことがかりで楽しかった」と、軽米での体験に満足げな表情を浮かべていました。

環境に優しいせっけん作り

増子内地区の住民二十二人は七月二十七日、増子内農村振興会館で天ぷら油などの廃油を使ったせっけん作りを体験しました。食生活改善推進協議会の研修会で廃油を使ったせっけん作りを学んだ地元の推進員が、地域のみなさんに伝えたいという思いから行われました。推進員の奥ヨシさん（下増子内）は「環境に優しく、靴下の汚れなどもよく落ちるので、作り方を覚えていってほしい」と、廃油せっけんの作り方を教えていました。



せっけん作りを体験した増子内地区の皆さん

園児とのふれあい賑やかに

岩手大学の影絵サークル「SMILE」の学生二十七人は八月二十五日、軽米幼稚園（戸草内勝夫園長）を訪れ影絵やゲームなどをして園児と交流しました。サークルの代表である後藤優太さん（教育学部二年）の「学生と交流することはありがたいと思うので楽しんでもらいたい」という思いのとおり、園児らは影絵を楽しく観賞。古里遙ちゃん（五歳）は「ゲームも楽しかったけど影絵が一番面白かった。また来てほしい」と笑顔で話していました。



大学生とのゲームにおおはしゃぎの園児

オーケストラと見事な協演



京大オーケストラとの協演を成功させました

京都大学交響楽団演奏会が八月六日、軽米中学校体育館で総勢百十三人の団員と約六百人の観客が集まり行われました。約二時間にわたる演奏会には、町内三中学校の吹奏楽部員四十八人も参加し「ハンガリー舞曲」など三曲を団員と共に演奏。大きな拍手が送られました。軽米中吹奏楽部部長の田代万由子さん（三年）は「一生に一度の経験。とても勉強になった」と、京大オーケストラとの協演を喜び、楽器指導にも真剣な眼差しで臨んでいました。

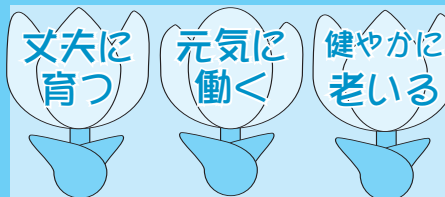
音更町だより

昭和60年10月31日姉妹提携

町内中学校のソフトボール部員が、7月20日に日立ソフトウェアソフトボールチームの技術指導教室を受けました。日本リーグで活躍する一流の選手から、直接手ほどきを受ける貴重な機会とあって、部員たちはみな真剣な表情でアドバイスに耳を傾けていました。



貴重な実技指導を受けることができました



成人歯科健診のお知らせ

自分の口の中をじっくり見たことがありますか？歯ぐきの色やつやは良いか、歯と歯ぐきの境目の歯垢は取れたかなど、自分である程度部分までは健康管理をすることができます。

しかし、小さな変化をうっかり見落としてしまいがちです。共に生きてきた歯には歯垢も蓄積されていることでしょう。この歯垢が歯を失う病気、歯周病の始まりになります。

一度歯科医の健康診断を受けて歯周病は小さな芽のうちに日々のケアで防ぎましょう。

町では、40歳、50歳、60歳、70歳、80歳に到達する方を対象に無料で歯科健診を実施しています。対象となる方には通知していますので、ぜひこの機会をご利用ください。



健康福祉課主任栄養士 工藤 晃子

お知らせ 情報 Information

公証証書について 公証相談会を開催

相談は無料で予約は必要ありません。電話による相談も受けつけています。
▶日時：10月1日～7日 午前9時30分から午後4時まで
▶相談内容：契約や遺言の公正証書について
▶会場：盛岡公証人合同役場（盛岡市大通り3丁目2番8号 金属工業会館3階、x019-651-5828）

土地家屋について 無料相談会を開催

▶日時：10月1日(水) 午前10時から午後3時
▶会場：二戸市シビックセンター
▶相談内容：土地の分筆・合筆・地目変更・地積厚正登記、建物 の登記、土地、建物の調査測量、境界問題など
【問い合わせ先】岩手県土地家屋調査士会二戸支部、大村義明（x46-2027）

カシオペア転倒予防 セミナーにご参加を

二戸医師会、二戸地区広域行



東京外国語大学の留学生が町を訪れ1週間にわたり軽米体験をしました



ソバを打つのはthe first time だけど上手に作れたし



軽米高校文化祭で発表した劇「もたらろう」も大成功！



毎日の生活や学校での授業を通して軽米の人や文化とふれあいました

政事務組合、二戸地区市町村などの共催による「カシオペア転倒予防セミナー」が開かれます。参加費は無料ですでお気軽にご参加ください。
▶日時：9月27日（土）午後1時45分から午後5時まで
▶場所：二戸市民文化会館
▶内容：
・講演「転ばぬ先の杖と知恵」講師 武藤芳照（東京大学大学院教授）
・ミニ転倒予防教室～安全で効果的な運動と暮らし方ポイント
・みんなで討論～地域で取り組む転倒・介護予防の先進事例
▶申込締切り：9月19日（金）中型バスによる送迎も行いますので詳しくは、地域包括支援センター（x46-4111）までお問い合わせください。

太陽の里で映画祭 2作品上映します

▶日時：9月21日（日）午前10時から午後4時
▶場所：太陽の里
▶上映スケジュール
①午前10時～「ポケモン2008～ギラティナと氷空の花束シェイミー～」
②午後1時～「犬と私の10の

約束」
▶入場料：無料
ゲームや模擬店もあります。お誘い合わせのうえご来園ください。
【問い合わせ先】太陽の里映画祭実行委員会（x47-2933）

特定大規模集客施設 新設する際は届出を

県の「特定大規模集客施設の立地の誘導等に関する条例」が10月1日から施行されます。小売店舗、飲食店などの集客施設で床面積が6千平方メートルを超える特定大規模集客施設を設置する場合、事前に県への届出が必要になります。
また、特定大規模集客施設の設置者は、地域貢献活動に関する計画と実施状況を県に提出することになります。
【問い合わせ先】県庁経営支援課（x019-629-5544）

外国人雇用状況の 届出をお忘れなく

平成19年10月1日より、事業主の方に対し「外国人労働者

の雇用管理の改善及び再就職支援の努力」「外国人雇用状況の届出」が義務化されています。外国人労働者（特別永住者及び在留資格「外交」「公用」の者を除く）の雇入れや離職の際に厚生労働大臣（ハローワーク）へ届け出ることが義務付けられています。詳しくは、ハローワーク二戸（x23-3341）または岩手労働局職業安定部職業対策課（x019-604-3005）までお問い合わせください。

有病小児への歯科治療 支援地域連携について

岩手県歯科医師会、岩手医科大学及び岩手県（保健所）が連携し、小児慢性特定疾患や育成医療の対象となるお子さんが退

院後に継続して歯科治療を受け入れる地域の歯科診療所を整備しました。二戸管内で該当する歯科医は次のとおりです。
▶二戸市：菅歯科、國香歯科医院、森川歯科医院
▶一戸町：岩淵歯科医院
【問い合わせ先】二戸保健所（x23-9206）

住宅を購入予定の方 保険や供託の確認を

平成21年10月1日以降に引き渡される住宅には、法律により事業者が保険か供託が義務付けられます。住宅購入の際は、その住宅がきちんと保険や供託の措置をとられているか忘れずに確認しましょう。
【問い合わせ先】町地域整備課（x46-4741）

内科(9:00～17:00) 休日当番医 歯科(9:00～12:00)

むらかみ医院いたみのクリニック（x48-1500）	軽米町岩崎	9月21日（日）	沢藤歯科医院（x25-4002）	二戸市堀野
小野寺クリニック（x46-2822）	軽米町門前	23日（火）	三澤歯科医院（x23-2445）	二戸市福岡
おりそ内科循環器クリニック（x22-2251）	二戸市福岡	28日（日）	こしみず歯科クリニック（x33-4618）	一戸町一戸
浄法寺診療所（x38-2021）	二戸市浄法寺	10月5日（日）	國香歯科医院（x23-2764）	二戸市石切所
川村医院（x23-3252）	二戸市福岡	12日（日）	ぼっぼ歯科クリニック（x31-1182）	一戸町一戸
菅整形外科皮膚科クリニック（x23-7311）	二戸市石切所	13日（月）	関歯科医院（x38-2937）	二戸市浄法寺

戸籍の豆知識

住基カードってなあに？

正式名称を「住民基本台帳カード」といい、写真付きと写真なしの2種類があります。写真付きのカードは、運転免許証と同様に公的な身分証明書として利用できます。5月から戸籍や

【問い合わせ先】役場・町民生活課（x46-4735）

住民票の交付申請の際に運転免許証などの本人確認書類の提示が必要になりましたが、この写真付き住基カードがあれば対応できます。また、銀行などでの本人確認にも利用できます。

図書館だより — 今月の新刊 —

【児童書】

原寸大 どうぶつ館

監修：成島 悦雄
写真：前川 貴行



さまざまな動物たちの姿を原寸大の写真で紹介。毛の一本一本や皮ふの質感、ひとみのがやきなど細かい部分もよく見える。動物たちの大きさを体感できる絵本。

大人になる前に 身につけてほしいこと

著 坂東 真理子

友だちづきあいのルール、すてきな大人になる秘訣、自分を守る知恵、学びの習慣…。「女性の品格」の著者が若い人へ、大人になる前に知っておくべきことを教える。



【一般書】

カイくんの家族で はじめるエコ

編：主婦と生活社



地球温暖化防止のために暮らしの中でできることを一緒に考えよう！家族でできる簡単なエコ行動をカイくんの語り口調で紹介し

絵手紙マラソン365日

著：大久保 文夫

一定期間、1日も休まずに絵手紙を投函し続ける「絵手紙マラソン」。過去4回完走した著者が自身の体験をもとに、継続のためのヒントを伝授する。



図書館ひろば

◎日時：9月27日（土）10:00～11:00
◎会場：旧生活文化博物館（町立図書館となり）
◎対象：小学生、幼児
参加をお待ちしています！

税の一口メモ

タックスアンサー（HP）をリニューアル 【問い合わせ先】二戸税務署（x23-2701）

印紙税は「契約書」「手形」「領収書」など、印紙税法に掲げる文書に対して課される税金です。印紙税の納税義務は、これらの文書を作成したときに成立し、その文書を作成した人が納税義務者になります。印紙税は、これらの

文書を作成したときに、税額に相当する収入印紙を文書にはり、印章又は署名で消印して納税するのが原則です。
○タックスアンサー「印紙税」
<http://www.nta.go.jp/taxanswer/inshi/inshi31.htm>

町税の納期限（9月30日まで）
国民健康保険税 3期
早めに納付しましょう

9月 September

16	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00 (要予約 ☎3-3111)
17	水	1歳6カ月児健診【ふ】13:00~13:30受付
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	寿大学公開講座【環】
23	火	【秋分の日】
24	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00~12:00
25	木	うまっこ教室【ふ】10:00~12:00
26	金	
27	土	図書館ひろば【図】10:00~ にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
28	日	夜間・休日の納税相談【役場・税務会計課】(〜30日)
29	月	
30	火	町税の納期(国民健康保険税3期)

10月 October

1	水	乳児健診【ふ】13:00~13:30受付
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	第27回町ロード・レース大会【役場前発着】9:00~
6	月	
7	火	こころの相談【ふ】14:00~15:30 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00 (要予約 ☎3-3111)
8	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00~12:00
9	木	
10	金	
11	土	少年野球教室【ハ】(〜12日) にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
12	日	第30回町総体・町民体育祭【ハ】 町民健康まつり【ハ】
13	月	【体育の日】 第11回町学童野球秋季交流大会【ハ】
14	火	
15	水	1歳児健診【ふ】13:00~13:30受付

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター 老:老人福祉センター
 フ:雪谷川ダムフォリスパーク・軽米 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館
 ハ:ハートフル・スポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行/岩手県軽米町 編集/総務課
(毎月第2水曜日発行)

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
 TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
 URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

ある日の風景



岩手県消防操法競技会は8月8日、岩手県消防学校で開催されました。二戸地区の代表として小型ポンプの部に出場した第4分団第2部(上円子)は、初出場ながら見事5位入賞。選手らは「適度な緊張感を持ち大会に望むことができた。次は県大会で優勝し全国大会に出場したい」と意欲を見せていました。

同競技会は、県内の各地区の代表15チームが集まり行われ、ポンプ車の部では二戸地区代表の一戸町が優勝し全国大会への切符を手に入れました。

冠婚葬祭 7月届出分 ＜敬称略＞

おめでた

下円子組 おおむら 大村そら (謙次)
 下増内 こばやし らいじ 小林礼慈 (幸治)
 大清水 はし 橋場しん 慎 (照規)
 笹渡 みかみ あさひ 三上旭陽 (勇弥)
 上新町 やま だて きらら 山館星空 (英樹)
 下河南 に い だ ゆ な 新井田侑那 (均)
 下新町 なかさ と な な 中里菜々香 (健一)
 八木沢 まつ うら あや ね 松浦朱音 (佳照)

おしあわせに

{ 下岩弘樹 (二戸市)
 長谷川愛子 (清水市)

{ 田中俊吾 (仲町)
 中塚志織 (久慈市)

おくやみ

大町 永井キクエ (87歳)
 軽米町 向駒木タミ (89歳)
 駒板 清水サキ (84歳)
 内城 槻木澤イシ (92歳)
 駒板 道野下正次 (59歳)
 下谷地渡 瀧澤善吉 (91歳)
 笹渡 細谷地サキ (80歳)
 貝喰 山中市郎 (82歳)

●人の動き ＜平成20年7月31日現在/町民生活課調べ＞

男 5,419人(+2) / 女 5,626人(-6)
 合計 11,045人(-4) / 世帯数 3,755(-1)
 ※()は前月比
 転入 18人(155人) / 転出 20人(237人)
 出生 8人(40人) / 死亡 10人(85人)
 ※()は1月からの累計

ほっとひといき / 編集後記

円子小児童の相撲大会、京都大のオーケストラ、並岡旗杯の剣道大会。どれも初めて目にするものでしたがとても見応えがあり楽しかったです。自分が知らない世界がたくさんあり、いろいろ挑戦してみたいなと純粋に思いました。

ジャニーさんの写真撮影では英語の必要性を再認識。英語を話せるようになりたいと思う思うだけの自分。もっと勉強しておけばよかったと思う今日この頃です。いつか英語を話せるようになるぞー!!いつか… (Yoshi)